

## 【実践報告】

# 公立小・中学校教員採用試験などに向けた取組の実際

広島文教大学教育学部

教育学科 准教授 三田 幸司

## 1 令和2年度・教員採用試験対策チャレンジセミナーの実際

本学では、学生が主体となって教員採用試験に向けた取組を行っている。ゼミや受験する自治体別の勉強会の他にも、学生からの依頼を受けて本学教員がチャレンジセミナー（以下、セミナー）を実施している。セミナーの取組は、正規の授業ではなく課外で行われる自由参加型であり、学生の主体的な学びを支援するものである。開催時期によって春期セミナー、前期セミナー、夏期セミナーに大別でき、後期には臨時的任用の対策や説明会も行われてきた。セミナー以外にも、教員や教職センターの教職アドバイザーによる模擬授業や面接の指導は随時行われている。本年度は、新型コロナウイルス対策のために対面による取組が一部制限されたが、セミナー委員をはじめとする学生の創意工夫によって取組を継続することができた。以下、本年の取組の概要を報告する。

### 1.1 春期セミナー

春期休業中には春期セミナーが実施された。学生のセミナー委員が事前に開講希望講座を調査・検討して教員への依頼を行い、時間割を調整する。初等教育学科・教育学科の教員が中心ではあるが、人間福祉学科の教員による講座も毎年開催されており、全学的な取組となっている。本年は2月20日に春期のスタート会を行って春期セミナーが始まった。



【写真1：春期スタート会】



【写真2：音楽学習指導要領セミナー】科38期生）

開始当初は写真2のように対面で行っていたが、新型コロナウイルス対策のため、3月前半に予定されていたセミナーは延期や中止（資料のデータ配布）となった。延期となったセミナーについては、Microsoft Teamsを利用して3月中旬以降に行った。担当教員はライブ配信とともに録画を行い、Wi-Fi環境が整っていなかったり不具合が生じたりした学生に対してオンデマンドによる視聴を可能にした。

## 1.2 前期セミナー

授業や卒業研究などと並行して、4年次前期もセミナーが行われる。例年、このセミナーでは継続した取組が必要な内容や1,2回では終わらない内容を扱っており、今年度もセミナー委員の学生が事前調査を行い、できるだけ参加しやすいように時間割を組んでいた。

【表1：前期セミナーの時間割】

コマ	月	火	水	木	金
昼休憩			教育用語・時事		
3	体育(実技)				
4		教職教養	グループワーク		図画工作 (理論・実技)
5	集団討論				
6					

しかし、新型コロナウイルス対策のために実技試験や集団面接等を中止にする自治体が出てきたことなどを受けて、集団討論とグループワークのセミナーは実施されなかった。また、体育や音楽の実技については、試験を実施する自治体が限られていたため、各々の学生が直接教員と交渉して実施した。その他、教職アドバイザーによる個別指導が行われるなど、表1の内容以外にも随時様々な支援が行われていた。

## 1.3 夏期セミナー

まず、夏期セミナーへ向けて6月17日にスタート会を行い、取組への意欲と、仲間と団結する気持ちを高めた。今回は新型コロナウイルス対策のためにMicrosoft Teamsによってオンラインで開催することになったが、学生や教員70名以上が参加した。夏期休業に入ると、二次・三次試験対策の夏期セミナーが本格的に開始された。夏期セミナーの内容は、模擬授業、面接練習、音楽実技、体育実技等である。



【写真3：面接セミナー】



【写真4：模擬授業セミナー】

例年であれば、セミナー代表が教員に事前調査を行ってセミナーの予定表を作成・掲示し、教員に予約をした学生が名前を書き込んでいた。しかし、本年は新型コロナウイルス対策のために登校を控える学生がいることを考慮し、セミナー委員がMicrosoft Teams内に各教員の予定表ファイルと予約を書き込むファイルを置いておき、各学生はこれらのファイルを使って教員に予約を取って記入していき、セミナー委員が調整を行った。セミナー委員の負担は大きかったようであるが、新型コロナウイルス対策としては特記すべき取組であったと言える。

## 2 「顔晴り（がんばり）」の取組の実際

### 2.1 教員採用試験等報告書「顔晴り」

本学では教員採用試験等の報告書を「顔晴り」冊子と呼んでいる。本年度は95頁で、セミナー、自治体別の学習会と小学校教員採用試験、一般企業採用試験という内容である。各試験に向けた学習方法、採用試験の実際が詳細に記述されていることに加え、後輩へのアドバイスが添えられている。この「顔晴り」冊子は、教員や希望する1～3年生に配布しており、教員や一般企業の採用試験を受けようと考えている後輩たちにとって貴重な資料であるとともに、学生を指導・支援する教員にとってもたいへん役立つものである。



【写真5・6：教員採用試験等報告書「顔晴り」】

### 2.2 教員採用試験等報告会「顔晴りの会」

本学では教員採用試験等の報告会を「顔晴りの会」と呼んでおり、本年は11月27日（金）の5コマに行われた。例年は大教室に集合して全体会と分科会を行っていたが、今回は新型コロナウイルス対策として、全体会は本学大講義室で行い、その後の分科会は本学2号館の大講義室や中講義室、1号館の122教室、模擬授業室、模擬レッスン室1に分かれて実施した。



【写真7：「顔晴りの会」全体会】



【写真8：「顔晴りの会」分科会】

全体会では、セミナー委員代表や教職センター長による挨拶の後、小学校教員採用試験受験者4人、一般就職2名からの報告が行われた。小学校教員採用試験受験者4人のうち、3人は今年度本学からの受験者数が多かった広島県・市、島根県、山口県について報告し、1人は併願によって2つの自治

体を受験した経験を報告していた。その後、初等教育学科・教育学科の学科長の挨拶で全体会を閉じ、分科会の会場へ移動した。分科会では、広島、島根、鳥取、山口、愛媛、高知、北九州、長崎、佐賀、大分、熊本の11グループを5会場に分散させ、4年生が作成した受験対策ノートや使用した参考書等を紹介したり、1～3年生が学習の開始時期や方法等について尋ねたりしていた。

### 3 令和2年度実施公立小・中学校等教員採用試験の結果

令和2年度に実施された公立小・中学校等教員採用試験の結果、各自治体の名簿に登載された者の人数を在學生と卒業生に分けて整理したものが表2である。

【表2：公立小・中学校等教員採用試験の結果（2020年12月末日までに判明したもの）】

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		栄養教諭		計
	在	卒	在	卒	在	卒	在	卒	在	卒	
広島県・市	34	9	0	2	0	0	0	1	0	2	48
島根県	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
鳥取県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
山口県	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
愛媛県	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
福岡県北九州市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
長崎県	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
大分県	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
熊本県	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
沖縄県	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
計	62	10	0	4	0	0	0	1	0	2	79

### 4 成果と課題

本年は、新型コロナウイルス対策のために例年どおりにはいかないことが多数あったが、セミナー委員や個々の学生の工夫と努力により、セミナーの新たな運営方法が創造された。合わせて、学生のセミナー委員と共にこれまでのセミナーの運営方法をふり返ったことで、今後につながる改善案を得ることができた。

総じて本年度も好調な結果ではあったが、教員採用試験終了後から卒業までの間に教員としての力量を向上させる取組等について、さらに検討していくことが不可欠である。また、教員採用試験対策チャレンジセミナーは学生主体の活動ではあるが、社会人としての資質を向上させたりセミナー運営の形骸化を防いだりするための教員のかかわり方を検討していく必要があると考える。

#### 参考・引用文献

- ・佐伯育郎「公立小・中学校教員採用試験に向けた取組の実際」（『広島文教女子大学 教職センター年報 2019年 第7号』広島文教女子大学教職センター，平成31年所収）
- ・佐伯育郎，小川雅史「公立小・中学校教員採用試験に向けた取組の実際」（『広島文教女子大学 教職センター年報 2020年 第8号』広島文教女子大学教職センター，令和2年所収）
- ・『顔晴り』広島文教女子大学教職センター，令和2年